

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 昭和パックス株式会社
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河野 弘征
 (氏名) 白方 茂樹

TEL 03-3269-5111

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,117	△2.8	545	△14.0	630	△14.3	376	△21.2
24年3月期第3四半期	14,529	△1.8	633	△17.4	735	△13.6	478	△7.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 473百万円 (81.1%) 24年3月期第3四半期 261百万円 (△20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	42.39	—
24年3月期第3四半期	53.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	20,373	9,555	45.5	1,043.50
24年3月期	20,091	9,191	44.3	1,002.83

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,270百万円 24年3月期 8,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—		
25年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	3.0	860	10.5	920	3.1	595	22.9	66.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方法の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	8,900,000 株	24年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	16,220 株	24年3月期	15,243 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,884,035 株	24年3月期3Q	8,885,648 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における我が国経済は、春ごろを「景気の山」とした後退局面を迎えました。復興に向けた公共事業が景気を下支えたものの、欧州債務危機や新興国経済の減速、日中関係の悪化などで輸出が落ち込み、個人消費も政策効果一巡で弱含みに推移したことから、実質GDPは、4～6月期にマイナス成長に転じた後、7～9月期はマイナス幅が拡大しました。

しかし、10～12月期には製造業を中心にわずかに底打ちの動きがみえ、平成25年に入って円高の是正、海外経済の復調傾向や新政権の緊急経済対策の効果などから、景気の持ち直しの動きが始まるものと期待されています。

産業用包装資材の製造・販売を主要事業とする当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、全般的な出荷数量の前年同期比減少により、売上高は14,117百万円で前年同期に比して412百万円の減収となりました。損益につきましては、売上の減少のほか、原材料の値上がり、前年度に実行した設備投資に伴う減価償却費の増加等による原価率の上昇があり、営業利益545百万円（前年同期比88百万円の減益）、経常利益630百万円（同105百万円の減益）、四半期純利益376百万円（同101百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷数量（ゴミ袋を除く）は前年同期比△1.9%と減少しました。セメント・米麦・製粉用途は横ばい、澱粉等ごく一部に増加した用途もありましたが、化学薬品、合成樹脂用途が大きく減少しました。

当社の売上数量は、シェアが高い合成樹脂用途が落ち込んだことが響き、前年同期比で△2.8%となり、業界全体より減少幅が拡大しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は営業努力が奏功し前年同期比+6.4%となりました。タイ昭和パックス㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）は、第1～2四半期に顧客に前年の洪水の影響が残った関係で、売上数量は前年同期比△4.6%と減少しました。山陰製袋工業㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）は前年同期比で+4.1%と売上数量を伸ばしました。

当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は8,903百万円で、前年同期に対し110百万円の減収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用とも減少しました。この間、主原材料であるポリエチレン樹脂価格は、ナフサ価格の変動に伴って一旦値上がりした後値下がりになり、その後再度値上げが打ち出されています。

当社の売上数量は、産業用、農業用ともに減少し、全体で前年同期比△7.4%でした。これは主に前年あった震災後の特需効果がなくなったことによります。

当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は2,981百万円で、前年同期に対して214百万円の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、当第3四半期連結累計期間の海外からの輸入量が震災後の特需があった前年同期を下回り、全体の流通量は前年同期比で減少していると推測されます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は自社製品、輸入販売品とも減少し、全体では前年同期比△16.8%となりました。大型コンテナバッグ「バルコン」は前年同期比+1.7%と僅かながら数量を伸ばしました。

当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は1,140百万円で、前年同期に対して147百万円の減収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約の内容に大きな変動はありません。当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は前年同期からほぼ横ばいで185百万円でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は20,373百万円で、前連結会計年度末に比べて282百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金473百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金146百万円です。

(負債)

負債合計は10,818百万円で、前連結会計年度末に比べて80百万円減少しました。主な減少要因は賞与引当金127百万円です。

(純資産)

純資産合計は9,555百万円で、前連結会計年度末に比べて363百万円増加しました。主に四半期純利益376百万円と配当支払106百万円の結果である利益剰余金の増加269百万円と、その他有価証券評価差額金の増加68百万円によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、景気後退の影響を打ち返せず全般的に出荷数量が減少したため、前年同期比で減収減益の結果となりました。第4四半期については、我が国経済が持ち直しに向かうことが期待されており、当社グループは売上と利益の拡大とともに将来を見据えた生産体制の整備に取り組んでまいります。

当連結会計年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）通期の見通しにつきましては、当初の予想を変更せず、連結売上高19,500百万円、連結経常利益920百万円、連結当期純利益595百万円を見込みます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結累計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響が及びますが、その影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,851,468	4,325,198
受取手形及び売掛金	6,022,904	5,876,566
商品及び製品	1,404,436	1,431,891
仕掛品	100,513	98,768
原材料及び貯蔵品	975,043	974,607
繰延税金資産	158,326	156,348
その他	312,039	205,167
貸倒引当金	△8,146	△4,596
流動資産合計	12,816,587	13,063,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,466,858	6,534,428
減価償却累計額	△4,309,273	△4,451,595
建物及び構築物（純額）	2,157,585	2,082,833
機械装置及び運搬具	7,805,758	7,938,840
減価償却累計額	△6,478,403	△6,715,469
機械装置及び運搬具（純額）	1,327,354	1,223,370
土地	837,653	841,061
リース資産	39,592	39,592
減価償却累計額	△7,661	△11,525
リース資産（純額）	31,930	28,067
建設仮勘定	26,585	120,518
その他	612,833	623,606
減価償却累計額	△543,204	△560,620
その他（純額）	69,629	62,986
有形固定資産合計	4,450,739	4,358,837
無形固定資産		
リース資産	2,527	1,652
ソフトウェア	33,451	26,544
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	45,209	37,427
投資その他の資産		
投資有価証券	2,411,541	2,488,182
繰延税金資産	4,451	4,347
その他	422,867	481,325
貸倒引当金	△60,243	△60,274
投資その他の資産合計	2,778,616	2,913,581
固定資産合計	7,274,565	7,309,846
資産合計	20,091,152	20,373,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,857,380	4,790,158
短期借入金	2,838,600	2,852,060
未払法人税等	132,365	68,142
賞与引当金	301,735	174,267
役員賞与引当金	20,786	14,730
リース債務	7,497	7,497
繰延税金負債	3,364	2,786
設備関係支払手形	7,746	16,417
その他	808,207	928,278
流動負債合計	8,977,684	8,854,337
固定負債		
長期借入金	770,000	795,000
退職給付引当金	162,545	189,655
役員退職慰労引当金	107,489	112,441
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	6,963	6,963
負ののれん	170,989	128,242
リース債務	27,997	22,373
繰延税金負債	468,461	505,913
長期預り保証金	193,028	189,826
固定負債合計	1,921,478	1,964,421
負債合計	10,899,163	10,818,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,777,488	8,047,444
自己株式	△7,117	△7,502
株主資本合計	8,700,718	8,970,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,920	417,955
為替換算調整勘定	△140,701	△118,020
その他の包括利益累計額合計	209,218	299,934
少数株主持分	282,052	284,818
純資産合計	9,191,989	9,555,041
負債純資産合計	20,091,152	20,373,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	14,529,999	14,117,505
売上原価	12,106,209	11,772,634
売上総利益	2,423,789	2,344,871
販売費及び一般管理費	1,789,905	1,799,550
営業利益	633,884	545,320
営業外収益		
受取利息	1,586	2,433
受取配当金	70,078	71,163
負ののれん償却額	42,747	42,747
為替差益	595	1,353
貸倒引当金戻入額	15,001	—
その他	18,256	14,843
営業外収益合計	148,265	132,541
営業外費用		
支払利息	43,959	44,292
その他	2,554	3,080
営業外費用合計	46,513	47,372
経常利益	735,635	630,488
特別利益		
固定資産売却益	1,575	—
投資有価証券売却益	—	73
特別利益合計	1,575	73
特別損失		
固定資産除却損	7,453	2,117
投資有価証券評価損	11,548	42,125
投資有価証券売却損	116	—
ゴルフ会員権評価損	11,011	—
特別損失合計	30,130	44,243
税金等調整前四半期純利益	707,080	586,319
法人税、住民税及び事業税	220,097	204,743
法人税等調整額	△298	1,592
法人税等合計	219,798	206,335
少数株主損益調整前四半期純利益	487,281	379,983
少数株主利益	9,248	3,416
四半期純利益	478,033	376,566

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	487,281	379,983
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△144,107	68,083
為替換算調整勘定	△81,873	25,201
その他の包括利益合計	△225,980	93,284
四半期包括利益	261,301	473,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,272	467,283
少数株主に係る四半期包括利益	1,029	5,985

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,014,076	3,195,976	1,287,317	186,850	13,684,220	845,778	14,529,999
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,014,076	3,195,976	1,287,317	186,850	13,684,220	845,778	14,529,999
セグメント利益又は損失(△)	655,353	105,160	△3,245	100,535	857,804	△223,920	633,884

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	857,804
「その他」の区分の利益	60,058
全社費用(注)	△283,979
四半期連結損益計算書の営業利益	633,884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,903,738	2,981,037	1,140,175	185,686	13,210,637	906,867	14,117,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,903,738	2,981,037	1,140,175	185,686	13,210,637	906,867	14,117,505
セグメント利益	531,464	126,901	3,715	99,701	761,783	△216,462	545,320

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	761,783
「その他」の区分の利益	66,609
全社費用（注）	△283,072
四半期連結損益計算書の営業利益	545,320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。